

三河商人道

PART
172

会社名 椿行政書士事務所

役職 所長

名前 鈴木昭弘君

青年部とは 人脈の宝庫である



【会社・仕事への思い】

相続手続きや契約書の作成、VISA の取得など行政書士の仕事は多岐に渡ります。その中でも大事にしているのは、お客様と正確な情報を共有すること。電話相談ではなく、実際にお顔を合わせて様々な角度からお話を伺うことで、正確で適切な答えを導き出すようにしています。

【青年部に入会されたきっかけ】

平成 18 年に、先輩である岩木先輩からお誘いを受け入会。同期には本田幸晴先輩や矢野快子君がおり、「サムライ(士がつく職業だから)トリオ」などと呼ばれました。

【思い出に残る青年部活動】

一番思い出に残るのは、平成 20 年、初めて委員長を受けた時に担当した12月例会「お疲れ様 2008 年、まだまだ頑張ろう 20 周年！ プラス YEG 博覧会」。忘年会ではあったのですが、メンバー間の異業種交流をしたいという強い思いから、物産展も併設して開催しました。また、伸びゆく大地もオーケストラで演奏するなど、音楽の好きな昭弘さんらしい例会となりました。

そしてもうひとつ。担当副会長を務めた平成22年の創生委員会で企画した公開委員会「大人の社会見学」。これも、メンバー同士の理解を深めるためバスを出して一日に何社もメンバーの事業所を見学して回りました。「いつもは見られないメンバーのプロフェッショナルな姿を見ることができて、本当に楽しかったし勉強になった。」と振り返ります。

【趣味など】

青年部きつての趣味人昭弘さん。「珈琲焙煎」「燻製作り」「F-1」「ギター」などなど。とにかく凝り性で、昭弘さんの書斎はまさに大人の遊び場。今年度の担当だった 12 月例会「The 忘年会」では、委員会でバンドを組み、そのギターの腕前を披露。「練習時間も含め、本当に委員会メンバーと素敵な時間を過ごすことができました」。

【青年部とは・・・】

「一言でいえば、人脈の宝庫。僕の岡崎での人間関係はほぼ青年部で培われたもの。岡崎に来たばかりで、それまでは岡崎に友達もいなかったもんね」。20 周年の記念誌編集時、歴代会長への取材がありました、その際渡辺要一先輩から「自社の発展が青年部と岡崎の発展につながる」というお話を伺い「腑に落ちた」と昭弘さん。それ以降、何かあればメンバーに仕事を依頼し、頼りにしてきた。「困った時は青年部の誰かを頼れば、大抵のことはなんとかなります。卒業してもこのご縁は大切にしたいと思っています」。



取材担当/
振興委員会
杉浦寮子、戸松政洋
稲吉稔彦、小笠原弘樹、
澤田修一、戸松澄人
野々山育成